

# 令和3年度宮城県産業用地整備促進事業に係る調査結果概要書

## 1 工業用地適地基礎調査業務委託

実施期間：令和3年6月30日～令和3年10月29日

業務内容：地元経済の活性化や良質な雇用の場を確保するため、企業誘致を実現することを目的とし、工業用地候補地について基礎調査業務を実施するもの。

### 【調査箇所 8箇所】

No.	所在	面積	No.	所在	面積
1	毛萱字熊野堂	約0.99ha	5	梶賀字高畑北	約3.07ha
2	岡字小浦	約3.45ha	6	枝野字北島	約7.82ha
3	佐倉字北原南	約5.91ha	7	島田字御蔵林	約3.06ha
4	角田字西田	約5.49ha	8	佐倉字北原北	約8.98ha

### 【業務内容】 UAVレーザ測量による現地調査及び基本計画書の作成

- ① 現況把握 ② 敷地分析 ③ 計画内容の検討及び方針設定 ④ 基本設計図の作成  
⑤ 概算工事費の算出 ⑥ 基本設計説明書の作成 ⑦ 照査 ⑧ 打合せ

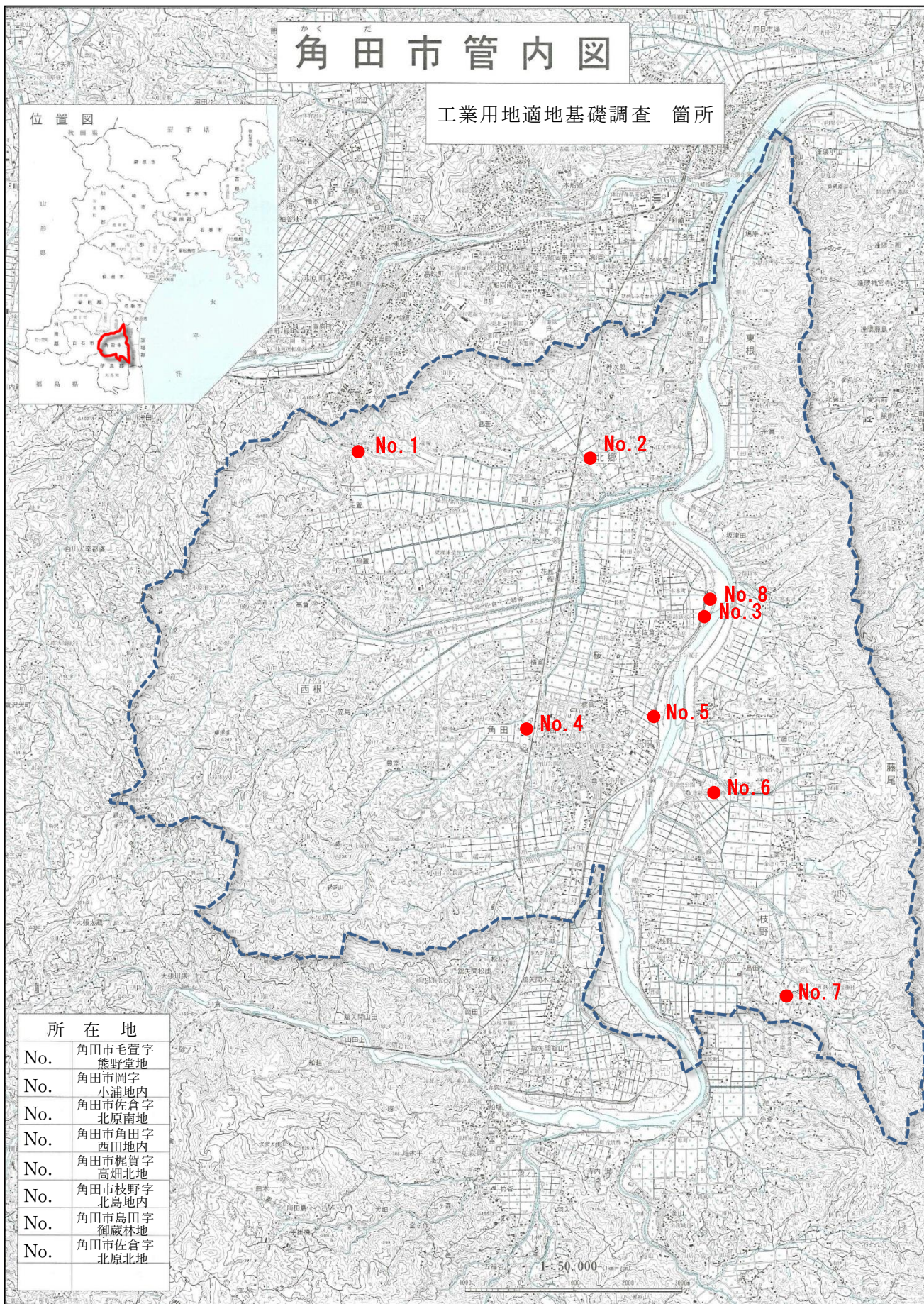
### 【調査成果品】

成果品名称	規格	部数	備考
基本設計図 基本計画説明書 (概算工事費算出書含む) 照査報告書 UAVレーザ測量成果	A4	2部	報告書
電子データ	CD-R	2部	PDF形式 オリジナルデータ (Excel・Word等)
	DVD-R	2部	三次元点群データ 等

# 角田市管内図

工業用地適地基礎調査 箇所

位置図



所在地	
No.	角田市毛萱字 熊野堂地
No.	角田市岡字 小浦地内
No.	角田市佐倉字 北原南地
No.	角田市角田字 西田地内
No.	角田市梶賀字 高畑北地
No.	角田市枝野字 北島地内
No.	角田市島田字 御蔵林地
No.	角田市佐倉字 北原北地

## 2 企業立地動向調査業務委託

実施期間：令和3年6月30日～令和3年10月29日

業務内容：企業誘致を実現するために、工業用地候補地における企業ニーズについて調査を実施するもの。

### 【調査内容等】

- ① 角田市の企業誘致における現状及び課題の整理について
  - ・市の企業誘致の目的及び経済・人口動向等課題の整理
  - ・周辺自治体の企業誘致の状況・先導事例の調査
  - ・誘致すべき企業の業態の検討
- ② アンケート及びヒアリング調査の実施
  - ・宮城県内外（角田市内を除く）の事業所37社に対して、企業誘致に係る用地整備地の検討に必要なアンケート調査を実施した。（質問項目15問）
  - ・商工観光課職員同席の上、市内外事業所9社に対して、アンケート調査票を基にヒアリング調査を実施した。また、経済産業省東北経済産業局に対して、東北地方における企業誘致の現状や今後の取組みの方向性についてヒアリング調査を行った。

### 【調査成果品】

- ・企業立地動向調査報告書（A4版、電子データCD-R） 各1部
- ・アンケート及びヒアリング調査の内容を取りまとめ、企業誘致の可能性や整備を予定する工業用地候補地におけるニーズ、今後の誘致活動に向けた課題等について考察した報告書

### 【調査結果概要】

#### A 今後の事業方針・計画について

- ① 今後の事業展開について（44社）
  - 現状の活動を維持し、移転を検討していない・20社（45%）
  - 生産規模や機能を拡大・強化する・・・・・・・・ 11社（25%）
  - 新規施設等を検討する・・・・・・・・・・・・ 9社（21%）

※生産規模の拡大・強化、新施設等の検討をしている事業所は46%で、約半数にのぼっており、産業用地の潜在的なニーズが存在している。

- ② 新設等を検討する施設の主な種類（回答32社）

生産・製造工場・・・・・・・・ 18社  
物流施設・・・・・・・・・・・・ 6社  
事務所（本社・支店等）・・ 3社  
研究・開発施設・・・・・・・・ 2社

※生産工場、物流施設などのニーズが高い。事業規模の拡大や生産性向上が理由としてあげられている。

③ 新設等に際しての敷地面積（回答 23 社）

1 ha 未満・・・12社（52%）

1～3 ha 未満・・・6社（26%）

5～10ha 未満・・・2社（9%）

10 ha 以上・・・2社（9%）

※3 ha 未満の敷地を想定する事業所が7割以上。従業員100人以上の規模が大きい事業所では、広い敷地を必要とする傾向がある。

④ 新設等の時期について（回答 25 社）

3年以内・・・8社（32%）

5年以内・・・4社（16%）

1年以内・・・3社（12%）

※事業拡大等の計画がある事業所では、概ね今後5年以内に新設等を検討している。未定と回答9社。

⑤ 立地候補地（回答 26 社）

角田市以外の宮城県内・・・10社（37%）

東北地方・・・7社（26%）

角田市内・・・3社（11%）

※県外に事業拠点を置く事業所も含め、宮城県内候補地とする傾向が強い。角田市を候補地とした事業所も3社あり、関心を示している。

B 角田市に進出するに際し、重視する点について

① 期待する支援策（回答 44 社）

用地・建物取得に関する補助金・・・23社

税金の軽減・・・11社

用地以外の設備投資に関する補助金・10社

安価な用地の確保・整備・・・10社

※補助金や税金の軽減等の財政支援を上げる事業所が多かった。安価な用地の確保・整備を求める声も聞かれた。設備投資、ランニングコスト等の軽減を考慮した助成制度が求められる。

② 立地環境の重要度と角田市の優劣について（回答 37 社）

（優）自然環境・気候が良い・・・21社

（優）土地の価格が安い・・・18社

（優）災害が少ない・・・10社

（劣）鉄道へのアクセスが悪い・・・17社

（劣）集客力・購買力低い・・・14社

（劣）高速道路へのアクセスが悪い・13社

※企業は、優秀な人材の確保ができる、災害が少ない、高速道路へのアクセスが良い等を重要視している。鉄道へのアクセスや物価の安さはさほど重要視していない。角田市の操業環境として、自然環境、土地の価格、災害についての優位性は高い。

C 角田市の印象について

① 角田市の印象・立地の可能性（回答 44 社）

自然環境が豊かなまち・・・29社

農業の活性化を進めるまち・・・11社

事業所立地の可能性あり・・・3社

※角田市は、自然環境が豊か、農業の活性化を進めるまちの印象が強い。「事業所立地の可能性あり」と3社から回答を得た。何とも言えない」は22社、「候補地にはならない」が12社という回答だった。

② 角田市に求める企業立地に関する情報（回答 44 社）

- 産業に関する情報・・・15社
- 優遇制度などに関する情報・13社
- 土地利用に関する情報・・・7社

※角田市の産業に関する情報や優遇制度、土地利用についての情報を求める回答が多かった。

D 角田市の今後の企業誘致に向けた取組について

① 事業拠点として魅力的なエリア（回答 44 社）

- 角田市北部地域・・・18社
- 角田市東部地域・・・10社
- 角田市中心部・・・7社
- 無回答・・・13社

※事業実施を想定した場合、北部地域や東部地域を魅力的とする声が多く、物流の観点から高速道路へのアクセスを重視する姿勢がうかがえる。

② 廃校施設の利活用について（回答 44 社）

- 検討したい・・・2社
- 条件次第で検討したい・・・6社
- 関心はない・・・37社

※事業拠点として廃校施設の利活用を考える事業所は14%と少なく、関心は低い状況である。

③ 廃校施設を利活用する際の用途（回答 42 社）

- 製造拠点（工場・作業所等）・・・15社
- 研究拠点・・・7社
- 物流拠点（倉庫・車庫等）・・・7社
- 福利厚生施設（社宅等）・・・7社

※用途として製造拠点や研究拠点等の回答が得られた。企業の事業拠点設置に際して、廃校の利活用は、設備投資のインシヤルコスト、ランニングコスト軽減が期待できることから企業に対する有効な支援策になりえる。